

野原 海斗

高岡市立中田中学校

(社会人3年目)

【取材日：2026.1.6】



現在のお仕事について教えてください

中学校の体育教師として授業を担当しています。安全管理や教材研究も行います。第2学年の担任として学級経営、柔道部の顧問として部活動の指導を行っています。

富山大学で学ぶきっかけ

身体を動かすことが好きだったので、体育の教員になろうと考えました。体育の教員免許の取得が可能な県内外の大学をみました。富山大学の人間発達科学部の地域スポーツコースでは体育に特化していると知りました。高校のソフトテニス部の先輩が富山大学に進学していて、大学でも部活動を頑張りたいと思い、富山大学に進学しました。

多様な人と出会いコミュニケーション力を養う

大学に入学し、高校とは違ってクラスは無く、いろいろな人と関わります。人間関係は自分で作っていかないといけないと思い、いろいろな人とコミュニケーションを取るようにしました。地域スポーツコースでは1年次から登山実習やスポーツの授業で、3年次の学生が教えに来てくれ、先輩との距離が近かったです。先輩との上下関係の中で、自分が先輩の立場になった時にどうすればいいか、考えるきっかけになりました。

Profile

富山県出身。富山県立砺波高等学校出身。
2019年、富山大学人間発達科学部人間環境システム学科地域スポーツコースに入学。
在学中はソフトテニス部の副主将としてチームを引っ張った。
2023年4月に高岡市立高岡西部中学校に着任。
2025年4月より高岡市立中田中学校で2学年担任と柔道部顧問を務める。

中学校の教員としてのやりがい

2023年から中学の教員として勤務を始め、生徒との距離感が近くて楽しいと感じています。相談してもらえたり、頼ってもらえるためには、まず生徒との信頼関係が一番大事です。学生時代にいろいろな人と関わる機会を大切にした経験が活きていると感じています。部活動の顧問としては、自分が専門的にやっていない部活を担当することもあります。自分で新しく勉強して教えることや、専門の指導者の指導法を見て「今度の体育の授業で活かそう」など、学びの機会が多くあります。

今後の抱負

教員3年目になり、今は自分のことでいっぱいなのが正直なところです。これから職場で後輩が増えていくので、困っている様子があればサッと声をかけられる先輩になっていきたいです。

まずは自分のことをきちんとできるように日々頑張ります。

高校生へのメッセージ

学生時代では新しい出会いがたくさんあります。その中で自分の価値観を見つめなおしたり、考え方が変わったりします。自分の人生を豊かにしてくれる友人との出会いが、富山大学で得られた大きな財産です。